

(陳受22第3号)

武蔵境駅周辺に十二分な駐輪台数を確保することに関する陳情

受理年月日

平成22年2月17日

陳情者

境南町2-12-21

武蔵境駅前の農水省倉庫跡地を雑木林にしたい会

世話人 大矢 好子

陳情の要旨

J R高架化に伴う駅周辺整備には十二分な駐輪台数の確保が欠かせません。

境南第4駐輪場の閉鎖が予測されるとのことで、代替施設の設定が急務です。また、かえで通りの専用レーン完成により自転車利用が促されます。さらに、プレイス開館に伴い利用者(自転車使用)が集中するでしょう。そこで、駐輪場が大幅に不足する事態を想定し、その解決に向けて、次の4点を提案します。

1点目として、J Rと西武鉄道の2社に対して大きな駐輪スペースの分担を要請すること。公的事業体として、地元のまちづくりに参加協力してもらいたいし、利用客の自転車駐輪についても責任ある処置を求めたい。放置自転車問題は都会の駅前共通の課題でもあり、鉄道会社に多大の負担を求めることについては、議会、行政、市民の立場から当然の要求として強力に交渉すべきだと思います。

2点目として、土地の有効利用のためハイテク立体駐輪技術の積極的活用を考えること。

3点目として、エコ都市に向けて車の自粛や乗り捨て可能なシェア自転車の展開等、道路整備も含めた交通システムの再構築を図ること。

4点目として、時間の経過による状況の変化に即して、武蔵野プレイス北側の公園の地下に駐輪場を追加設置すること。もとより地上部分は武蔵野のイメージを喚起する緑豊かな植栽を望みます。

「武蔵境駅周辺に駐輪場を十二分に用意し、あのまちからこのまちから自転車ウェルカム。健康的でエコな乗り物でまちを回遊し、食事や買い物でにぎわう商店街も元気に。」上記の提案は、懸案のまちの活況、活性化対策としても有効だと思います。

よって、上記の提案を勘案の上、武蔵境駅周辺に十二分な台数の駐輪場を設置することを要請します。